

第 7 0 回県政世論調査（令和 7 年度）

	令和 7 年度
調査時期	令和 7 年 1 1 月 1 8 日～1 2 月 1 2 日
調査対象者	千葉県在住の満 1 8 歳以上の個人 3, 0 0 0 人
抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査方法	郵送法・オンライン調査法の併用
回答者数	1, 7 5 9 人（うちオンライン 7 1 5 人）
回答率	5 8. 6 % （うちオンライン 4 0. 6 %）

1 回答者の属性 ※一部省略

(1) 性

回答	令和 7 年度 (%)
男性	40.1
女性	56.6
その他	0.1
回答しない	2.0
(無回答)	1.2

(2) 年代

回答	令和 7 年度 (%)
18～19 歳	0.9
20 代	8.1
30 代	10.3
40 代	16.9
50 代	14.2
60～64 歳	8.2
65～69 歳	8.2
70～74 歳	11.8
75 歳以上	20
無回答	1.3

(3) 地域

回答	令和 7 年度 (%)
千葉地域	20.0
葛南地域	26.1
東葛飾地域	24.3
印旛地域	11.7
香取地域	1.3
海匝地域	1.9
山武地域	2.5
長生地域	2.6
夷隅地域	1.0
安房地域	2.2
君津地域	4.7
無回答	1.7

2 調査結果

問1 あなたは、これまでに生活困窮、DV被害、家族関係破綻など困難な問題を抱えた際、誰に相談したことがありますか。女性以外の方もお答えください。(〇はいくつでも)

	回答	令和7年度(%)
1	家族・親族	15.9
2	友人・知人	13.2
3	公的な相談窓口(SNS相談を含む)	8.5
4	病院や福祉サービス事業者(利用時)	3.2
5	民間の相談窓口(SNS相談を含む)	3.0
6	交際相手	1.5
7	SNSやインターネット上の知人	0.9
8	学校の先生	0.7
9	その他	1.0
10	相談しなかった	10.7
11	困難な問題を抱えたことはない	56.1
12	無回答	4.8

問2 相談機関に相談しやすくするためには、どのようなことが必要ですか。最もあてはまるものを選んでください。女性以外の方もお答えください。(〇は1つだけ)

	回答	令和7年度(%)
1	電話、SNS、対面など、相談できる手段が複数あること	34.9
2	匿名で相談できること	17.9
3	土日・祝日にも相談できること	17.2
4	同性の相談員に相談できること	7.0
5	同じ境遇の人と交流できること	6.3
6	行政機関閉庁後の時間帯に相談できること	4.9
7	その他	2.6
8	無回答	9.2

問3 困難な問題を抱える女性へどのような支援や対策があるとよいと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。女性以外の方もお答えください。(〇は1つだけ)

	回答	令和7年度(%)
1	利用できる支援制度の情報提供(就労支援、住居支援、法律相談、カウンセリングなど)	31.0
2	相談窓口が周知されること	21.3
3	DV等から安全に避難でき、自立が目指せる施設	20.1
4	気軽に立ち寄り、一時的に休息できる居場所	13.5
5	若者を中心としたDV予防教育の推進	3.1
6	DV加害者への教育プログラム	2.6
7	その他	2.2
8	無回答	6.3